

## (数学B) 学習指導案

日 時	平成19年5月29日(火) 第1時限	指導者	岩村正雄
学級・群	3年次N群	教室	204教室
単 元	空間のベクトル	教科書	新編 数学B (数研出版)
指導計画 時間配当	1 空間の点・・・・・・・・・・ 1時間 2 空間のベクトル・・・・・・・・ 2時間 3 ベクトルの成分・・・・・・・・ 2時間 4 ベクトルの内積・・・・・・・・ 2時間 5 位置ベクトル・・・・・・・・ 3時間 (本時はその2時間目) 6 座標空間における図形・・・・ 2時間		
本 時 の 指導目標	1 空間における位置ベクトルも平面と同じように処理できることを理解させる。 2 空間の点Pが、平面ABC上にある条件の処理方法を理解させる。		
事前指導 と 準 備	1 分点の位置ベクトルの問題(クリアー107、108)を解く。 2 予習プリントの問題(2直線の交点の位置ベクトルなど4問)を解く。		
指導過程及び指導内容		時間 (分)	指導上の留意点及び評価の観点
導 入	1 課題(問題集、プリント)の解答をする。 2 本時の目標を確認する。	10	・板書させる。 <i>知識・理解</i> 平面ベクトルの図形への応用が理解できているか。
展 開	1 応用例題2を説明する。 「直方体の対角線OFと平面の交点をPとしたとき、OP:PFを求めよ。」  2 空間の点Pが、平面ABC上にあるときの条件を導く。  3 応用例題2の別解を説明する。 「点Pが平面上にあるときの条件を利用した解法」  4 プリントの演習問題を解かせ、解答する。 「応用例題2の類題」	10  10  5  10	・立体を用い、イメージを持たせる。 ・平面ベクトルの一次独立性を参考にさせる。 <i>知識・理解</i> 空間ベクトルの一次独立性が理解できるか。  ・平面において、点Pが直線AB上にあるときの条件と比較させる。  ・課題プリントの問題を参考にさせる。  <i>表現・処理</i> 空間の点Pが平面上にあるときの条件を使って、問題の処理ができるか。
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をし、課題を与える。	5	・学習内容を確認させる。
備 考	総合学科 生徒数7名(男子4名 女子3名)		